

今年の年賀状は「春風接人」です

ま いど、あけましておめでとうございます。みなさん、どんな正月を迎えていらっしゃいますか。

僕は、昨年末に引越しをして、あわたたしく年末年始を過ごしています。

みなさん、八〇歳近くになってなんで今更引越しを、と思います。私も、まあいろいろありまして、そのことはまたいずれ、ということ、今月のテーマの年賀状のことを話したいと思います。

今年の年賀状は「春風接人」です。候補は数種類あったんですけど、嫁さんがこれがいいと推しましたので、「春風接人」に決まりました。

我が家は大体、嫁さんの意見が通ります。はたから見ると、僕は亭主関白に見えるようで、皆さんそうおっしゃいますけど、とんでもない。実は嫁さんの方が強いんです。僕は言い返されると、よう言えません。

例えば昨年は、引越しやら、なんやらいろいろありました。前も書きましたけど、僕の年賀状のスタートが遅れてしまいました。刷したところはありません。

最近、年賀状出さない人も、多くなったそうですね。

して、出す人も全部印刷だけで、一字も手で書いた文字がない人もいますねえ。僕みたいに全部、手書きやなくても結構です。近況報告でせめて一行ぐらいいは添えて、自分で書いてほしいもんです。

そんなことを考えながら「難儀やなあ。今年は遅れたし、もう書くのいやになるわ」とブツブツぼやいてましたら、「あんたが勝手に遅らせたんやろ！今さら何言いうの！ぼやいてる暇あったら、手を動かさない」と怒られました。

ハイハイ。私が悪いんです、と答えましたが、これ家庭内のパワハラと違うんでしょうか。

そうそうこの前も、友だち囲んで食事していたときに、嫁さんが「みなさん、どうでもいいことは会長（僕のことです）に、大事なことは私に話すわ」と言うのと、一緒に食事していた人が大笑いして、エライ受けてました。どうも分が悪いですね。

年賀状を書くのは朝の五時から八時と決めてます

えーっ。断が例によってそれてしまいました（笑い）。「春風接人」に戻りましょう。

「春風接人」とは、「人には春風のごとく優しく接する」とい



●(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦

(あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年国立和歌山大学客員教授に就任。2016年大阪市立大学学長特別顧問に就任(現在は、大阪公立大学客員教授)。2020年国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事。

う意味だそうです。この言葉は「秋霜自粛」つまり「秋の霜のように厳しく自分を律する」という言葉とセットで、なんでも江戸時代の儒学者で、有名な佐藤一斎という方の言葉だそうです。佐藤一斎さんは、山田方谷、佐久間象山、渡辺崋山、横井小楠といったお弟子さんを育てたということでも有名です。お弟子さんは、いずれも幕末に活躍された方だそうです。

去年の年賀状は、「運は動より生ず」、「我を張るな 気を張れ」でした。二つのパターンがありました。コロナ禍がようやく過ぎつつあるという世相の中で、まず動いて人と会いましょうや、というものでした。

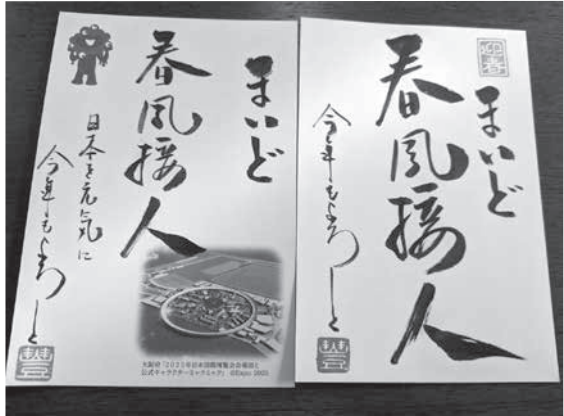
そして今年は、新春にふさわしい、春風という言葉を選んで、優しく人と会いましょう、としました。いかがでしょうか。年賀状を書くのは、朝の五時から八時ぐらいにかけてと決めています。

静かな時間に筆を走らせます。面白いことに、心が乱れていると字も乱れますなあ。

しゃべらんと、ただ黙々書いてます。そんな僕の姿、みなさん想像できないかもしれませんけど、本当の僕の姿は、そんなもんかもしれません。

若い世代の文字は 小さい文字が多いそうです

さて、年賀状もなんとか終われば、新年の抱負です。毎年いろいろなことを考えますが、今年は、中断した絵をまた始めようかとも思っています。



●今年は万博バージョンの年賀ハガキもあります。主に東京方面の方に送りました

れですわ。どうりで、書きなれてますわ」とおほめいただきました。

世の中、何が役立つかわかりませんなあ。そういえば若い世代の書く文字は、小さい文字が多いそうです。なんでかわかりますか。スマホです。スマホ見て、スマホでメール送ってますから、字の標準が小そうなんですわねえ。まさに「字は体を表す」やね。若い人は元気出さないとあかんよ。

スマホでのコミュニケーションもええけど、対面して、しゃべってというのが、なんといっても基本やから。

僕の年賀状の中には「日本を元気に今年もよろしく」と添え書きしたものもあります。

みなさんも、大きな文字で大きな抱負を書いてください。

年賀状書いてて思い出したんですが、何年前かに習っていた絵の先生に「青木さん、筆づかいが、いいですなあ。何かやってみましたか」と聞かれたことがありました。思い当たることなく「いやあ、何もやってません。強いて言うならば、年賀状ですかなあ。毎年一二〇〇枚、書いてますから」というたら。「そ